




[Square line Cabi]

施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様に保管頂くよう依頼してください。






安全のために必ずお守りください

- ここでは施工に際して守って頂かないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。










用語および記号の説明

- 警告**……取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます
- 注意**……取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が生じることが想定されます
-  ……「注意しなさい！」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください)
-  ……「してはいけません！」(一般的な禁止記号です)
-  ……「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です)

警告

	給排水工事・電気工事は、関連する法規・規定に従って有資格者が行なってください ※漏水や火災、感電のおそれがあります
	洗面化粧台、化粧鏡台等の固定位置には、壁裏の補強をしてください ※取付物の落下、転倒によりけがをすることがあります
	浴室など高温多湿な場所や、水に浸る可能性がある床面には設置しないでください ※キャビネットの劣化、電気用品を使用する場合は感電のおそれがあります
	ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください ※変色や変形、火災をおこすおそれがあります
	修理技術者以外の方は、絶対に修理、改造は行なわないでください ※漏水や火災、感電のおそれがあります

注意

	給水は上水道に接続してください ※皮膚の炎症などをおこすおそれがあります。また器具の故障につながります
	工事完了後に、洗面化粧台、化粧鏡台等の固定にがたつきがないか確認してください ※使用中に落下してけがをすることがあります
	工事完了後に、給排水管から漏水がないか確認してください ※漏水による家財に損害を与えるおそれがあります
	凍結のおそれがある地域では、凍結防止の工事を行なってください ※配管が凍結破壊し、家財に損害を与えるおそれがあります
	給水給湯管の接続時に、湯水を逆に配管しないでください ※火傷やけがをすることがあります
	製品に強い力や衝撃を与えないでください ※破損や故障、漏水の原因になります [洗面器は陶器製です]
	直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください ※変色や変形の原因になります
	不陸が5mm/2mを越える場所には施工しないでください ※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります
	酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネット等を拭かないでください ※変色や変形の恐れがあります。溶剤がつかますと跡が残ることがあります

施工前の確認

1. 配管工事の確認

※給水給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出していることを確認してください。

⚠ 注意

- ❗ 給水は上水道に接続してください
(皮膚の炎症などをおこすおそれがあります
また器具の故障に繋がります)
- ⊘ 湯水を逆に配管しないでください
(火傷やけがをするおそれがあります)

3. 壁面工事の確認

〔壁材、下地材の確認〕

- キャビネットの取付可能な壁面は右図に示す乾式壁3種の壁面のみです。

〔補強木、仕上げ材の厚みの確認〕

- 器具の取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木(幅90mm×厚み30mm以上)が指定の位置に必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材に器具の取り付けはしないでください。
- 補強木の柱や、間柱への取付部材(ねじ等)は、器具の固定強度(乾式壁の図を参照)と同等以上になるように種類、数を選定してください。
- 補強木手前の仕上げ材は取付ねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。
- 湿式壁の場合は、市販のボードアンカー等を使用し施工してください。

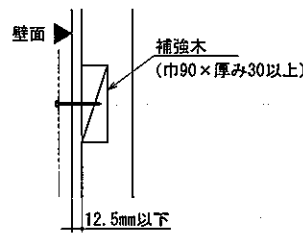
〔壁の不陸について〕

- 器具の取付壁面の不陸は5mm/2m以下であることを確認してください。
※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。

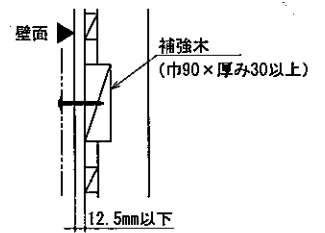
2. 床面の確認

- 設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。
- 床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。
- ※キャビネットがぐらついたり、取付精度(納まり)が悪くなるおそれがあります。

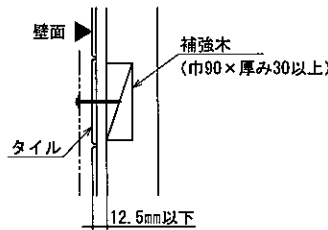
●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け



●タイル仕上げ



付属部品

洗面化粧台

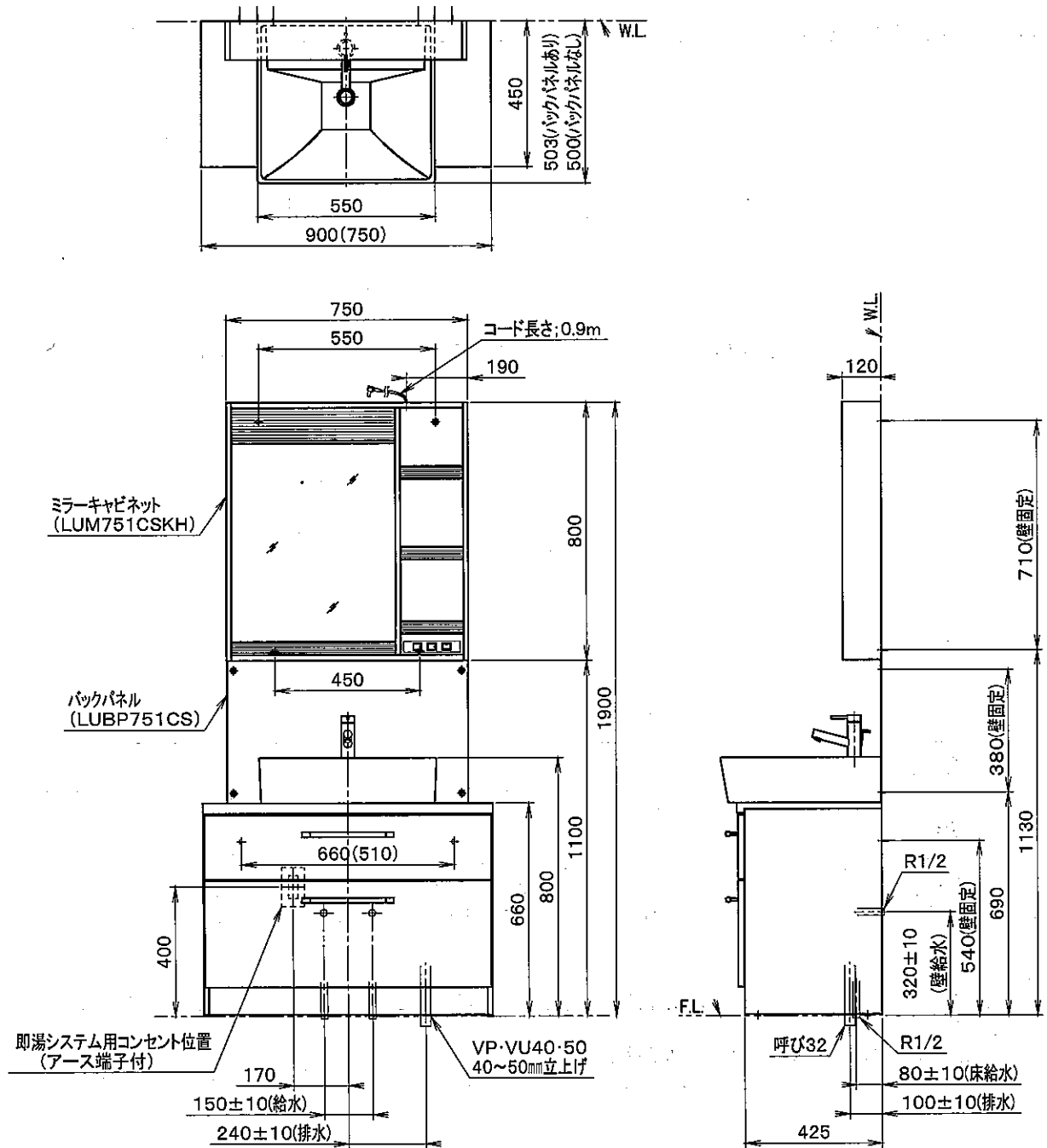
洗面器		1
キャビネット		1
付属部品	水栓金具	1
	排水上部	1
	Sトラップ	1
	防湿キャップ	1
	スポンジパッキン	1
	排水プレート	1
	固定金具	1
	取扱説明書	1
施工説明書	1	

バックパネル (別売品)

パネル	1
固定金具	1

寸法図

- 特殊品の場合、壁排水の場合の施工寸法は、承認図を確認してください。
- 電装部品付のミラーキャビネット、即湯システムを取付ける場合は、別途にコンセントが必要です。接続できる位置にコンセントを設置してください。(電気工事)

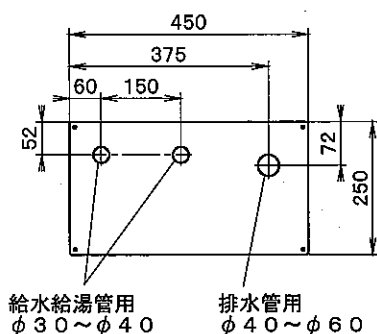


施 工

■化粧台の穴加工

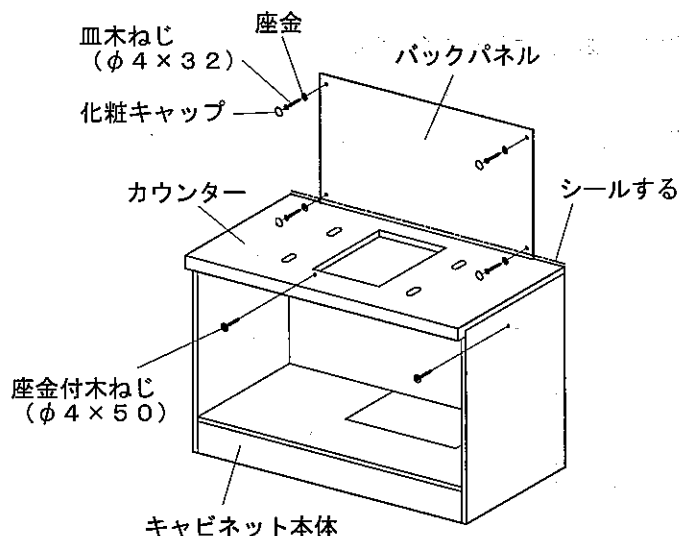
- 給水給湯管、排水管を化粧台に引き込むため、配管の取り出し位置に合わせてキャビネットに給水給湯管用の穴（ $\phi 30 \sim \phi 40$ ）と排水管用の穴（ $\phi 40 \sim \phi 60$ ）の穴を開けてください。
※キャビネットの底板は、ねじ止めになっています。底板を取り外して加工してください。

※基準寸法の場合の底板加工寸法
床給水・床排水の場合



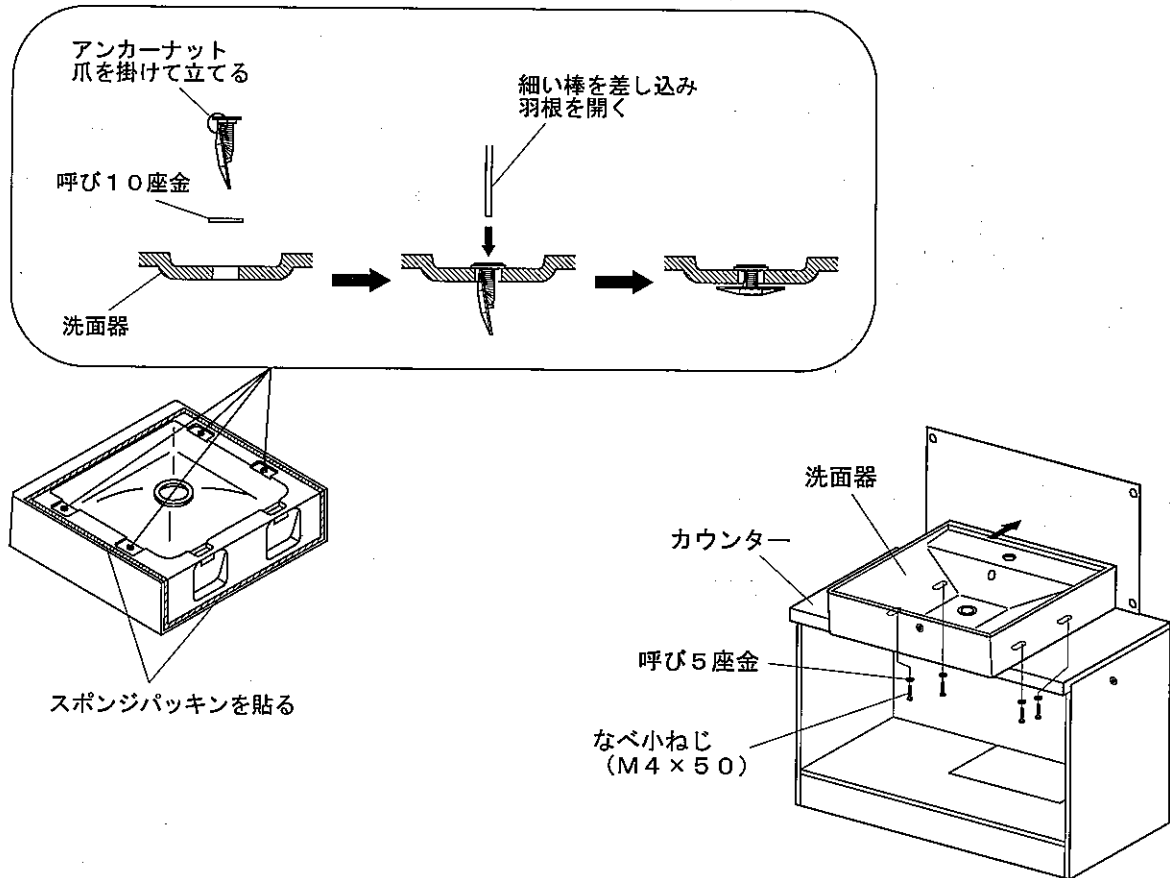
■キャビネット、バックパネルの取り付け（バックパネルは別売り品です）

- キャビネットの取り付け
キャビネットを所定の位置に置き座金付木ねじ（ $\phi 4 \times 50$ ：2本）で壁に固定します。
※水平に取り付かない場合は、キャビネットの下に当て木をして水平になるように調節してください。
※扉や引出にふぞろいが生じた場合は、扉や引出前板を調整してください。
（調整方法は、裏面をご覧ください）
- バックパネルの取り付け
※バックパネルはオプションです。必要に応じご購入ください。
バックパネルをカウンターの中央に載せ、皿木ねじ（ $\phi 4 \times 32$ ：4本）に座金を通して壁に固定します。
固定した後、座金に化粧キャップを取り付けます。
- カウンターと壁の突き合わせ部はコーキング材でシールしてください。



■洗面器の取り付け

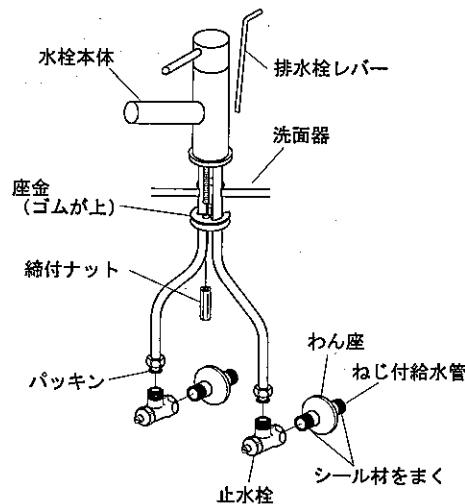
- 洗面器にアンカーナットを取り付けます。アンカーナットの羽根を立てて座金（呼び10外径18）を通して洗面器の穴に差し込みます。アンカーナットの穴から細い棒で羽根を押し洗面器の中で羽根を開きます。
- 洗面器のカウンターと壁の合わせ部にスポンジパッキンをすき間のないように貼り付けます
- 洗面器をカウンターの中央に載せ、カウンターの下から座金（呼び5外径25）通したなべ小ねじ（M4×50：4本）で固定します。
※洗面器は壁面に押し付けた状態で固定してください。



■水栓金具、止水栓の取り付け（止水栓は別売り品です）

- ※止水栓はメンテナンス・吐水量の調整のため取り付けてください。
- ※即湯システムを使用する場合は、即湯システムの施工説明書に従い配管してください。

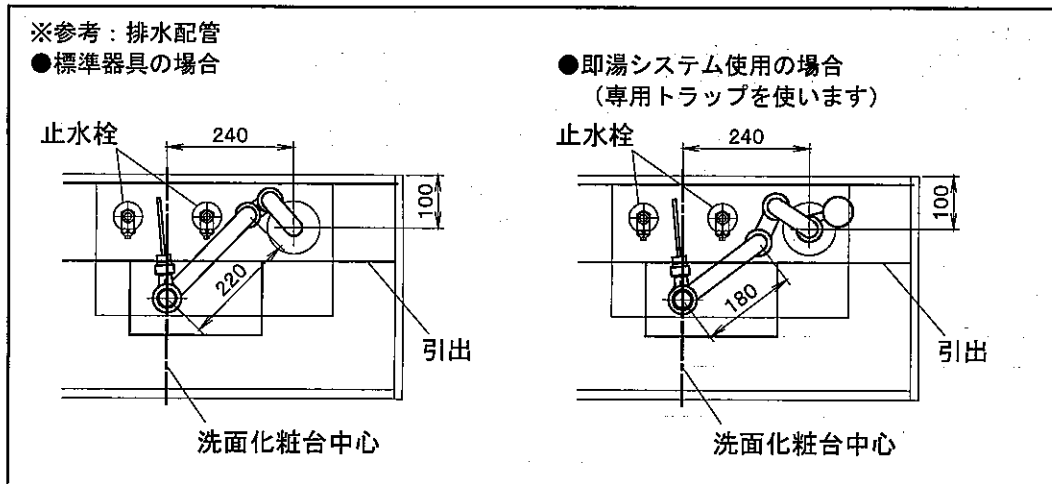
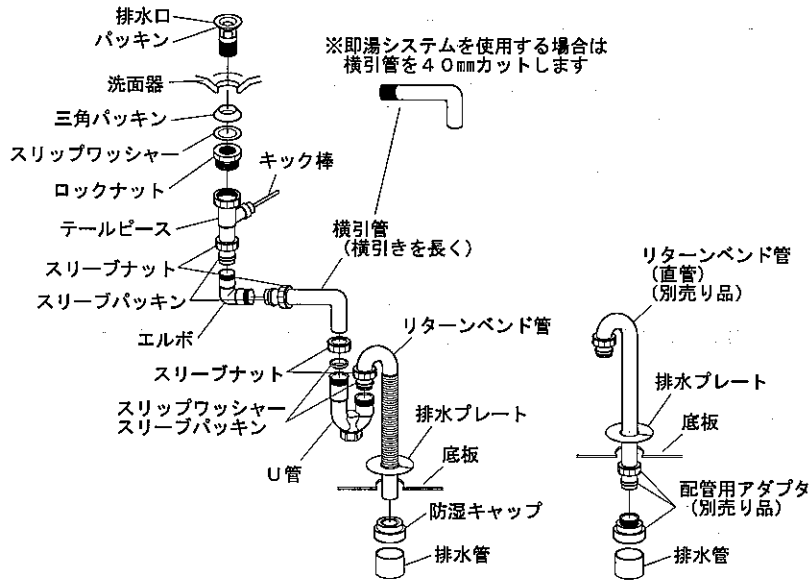
- 水栓金具を洗面器に取り付けます。（詳しくは水栓金具の施工説明書をご覧ください）
- ※あらかじめ排水栓レバーを取り付けてから水栓金具を固定してください。
- 水栓金具と止水栓を接続します。



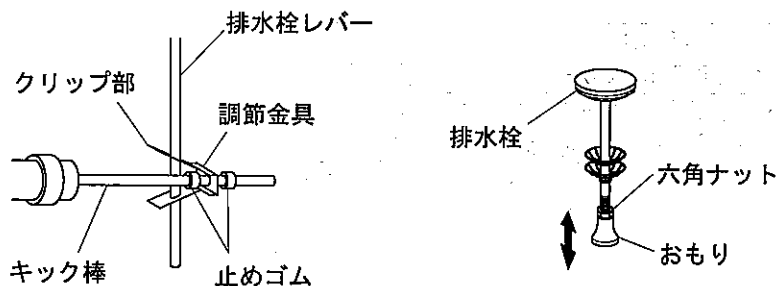
■排水器具の取り付け

※即湯システムを使用する場合は、即湯システムの施工説明書に従い配管してください。

- 洗面器に排水器具を取り付け、排水管に接続します。(ナットは手で確実に締め付けてください)
※給水管やキャビネットの引出に干渉しないように横引管とトラップを調整してください。



- 水栓金具の排水栓レバーと排水器具のキック棒を接続します。
※キック棒に調節金具を取り付け、クリップ部をつまみながら排水栓レバーを通してください。
※接続後、排水栓レバーを上下させ排水栓が開閉することを確認してください。
※排水栓が開かない場合は、排水栓の長さを調節してください。
(六角ナットをゆるめ、おもりをまわして長さを調節した後、六角ナットを締め付けます)

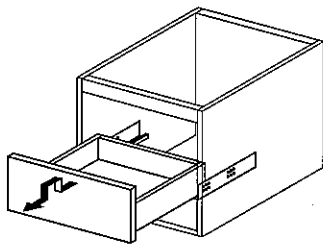


■ミラーキャビネットの取り付け (ミラーキャビネットは別売り品です)

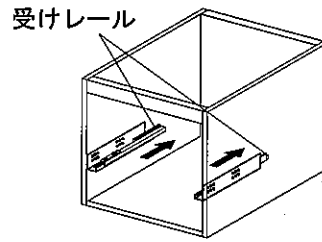
- ミラーキャビネットを取り付けます。(取付方法はミラーキャビネットの施工説明書をご覧ください)
※電源は必ず交流100Vに接続してください。
※蛍光灯照明の場合は、地域の周波数に合わせて周波数切替スイッチを切り替えてください。

■引出の着脱

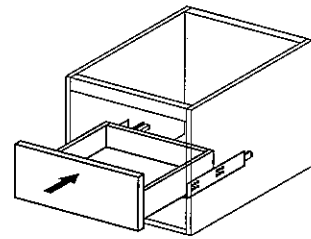
- 引出の取り外し
引出を全開にし、上に少し持ち上げて引き抜いてください。
- 引出の取り付け
キャビネット側の受けレールを奥まで押し込みます。
引出を受けレールに載せ、奥まで押し込みます。(カチャと音がしてロックされます)
※取り付け後、引出を数回開閉して正常に取り付けられていることを確認してください。



●引出の取り外し



●引出の取り付け

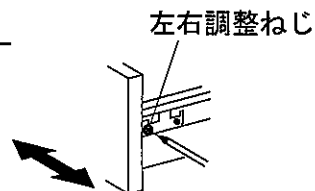


■引出前板の調整

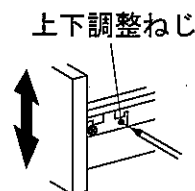
- 引出前板にふぞろいが生じた場合は、引出前板の調整を行ってください。
- 引出の側面の化粧カバーを取り外します。
※化粧カバーは調整後に取り付けてください。(前板側の爪を引掛けてから奥側を押し込みます)
- 引出前板の左右調整
左右調整ねじを回し調整します。(左右共に行ってください)
- 引出前板の上下調整
上下調整ねじを回し調整します。
- 引出前板の傾き調整 (下段引出のみ)
ギャラリパイプを回し傾きを調整します。



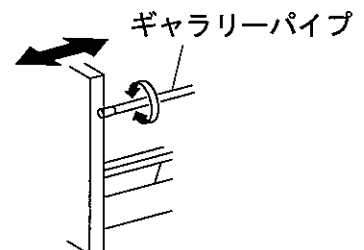
●化粧カバーの
取り外し



●左右調整



●上下調整



●傾き調整

■扉の調整

●キャビネットの扉にふぞろいが生じた場合は、扉の調整を行ってください。

●扉の前後調整

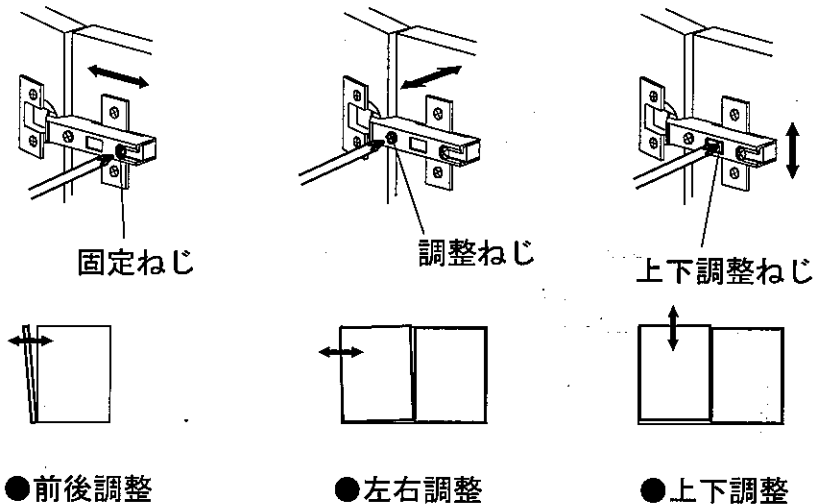
固定ねじをゆるめて蝶番を前後に動かし調整した後、固定ねじを締め直します。

●扉の左右調整

固定ねじを締めたままで、調整ねじを回して調整します。(調整後は、固定ねじを増し締めしてください)

●扉の上下調整

上下の蝶番の上下調整ねじ(四角の窓の奥)をゆるめ、扉を上下させ調整した後、上下調整ねじを締め直します。



施工後の確認

■洗面化粧台、化粧鏡台等の固定の確認

- (1) 洗面化粧台、化粧鏡台等の取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないことを確認します。
- (2) 洗面化粧台、化粧鏡台等自体にガタツキ、壁とキャビネットのすき間がないことを確認します。
- (3) ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は必ずねじ位置を変えて取り付け直します。

■吐水量、排水量の確認

- (1) 洗面器の排水栓を閉じて水を満水にし水栓から吐水させ、洗面器から水があふれないよう水側、湯側の止水栓を開閉して流量を調整します。

※水栓金具の吐水量は、毎分6リットルが目安です。

水栓金具のレバーハンドルを中央の位置で全開にし吐水した時、洗面器のオーバーフローまでの貯水時間が約40秒です。

■給水、排水接続部の確認

- (1) 水栓金具から吐止水させ、止水栓、水栓金具の各接続部からの水漏れのないことを確認します。
- (2) トラップ、排水管の各接続部からの水漏れのないことを確認します。

ジャニス工業株式会社

本 社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 TEL (0569) 35-3151